

令和2年度 第2回研修部会 令和2年12月18日（金）開催
（オンライン会議にて開催）

会議の概要

構成員

◆研修部会構成員

- ・ 研修部会構成員名簿
-

議題

◆令和3年度宮城県教職員研修計画（案）について

- ・ 令和3年度研修事業の概要について
 - ・ 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修について
 - ・ 大学等との連携協力による研修について
-

概要

◆令和3年度研修事業の概要について

- 教育課題への対応と働き方改革の両立が求められており、教職員が子供たちと向き合う時間を確保しながら、主体的に資質能力の向上を図るために、ICTを活用し研修事業をより効果的・効率的に実施する。
 - ・ 受講管理システムの導入
 - ・ eラーニングによる研修の導入
- 本県の喫緊の課題である学力向上に向けて、教科等の研修において学校の授業を活用した実践的な研修等を実施する。
- 新学習指導要領への対応や、GIGAスクール構想の実現に向けて、授業において効果的にICTを活用して指導する力の向上を図る研修を実施する。
- 今後も発生が予想される様々な自然災害から子供の命を守るため、教職経験年数や職能に応じて必要とされる防災に係る知識・技能の向上を図るための研修を実施する。
 - ・ 新規採用者全員を対象とした防災研修の実施
 - ・ 職能に応じた防災研修の実施（新任校長，防災主任，安全担当主幹教諭）
- 学校教育法の改正やチーム学校への取り組みなど、学校事務職員に期待される役割に対応するため、求められる資質能力に応じた研修を実施する。
 - ・ 学校事務フォローアップ研修の実施
 - ・ 主査級職員に対する研修の拡充

◆初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修について

【初任者研修】

- 実施状況
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、研修の内容を組み替え、8月までは校内研修の充実を図った。また、学習指導案の添削等を行い授業力の向上に繋がる指導を行った。

9月からは講義や演習，研究協議を中心に研修を実施した。

○ 今後の方向性

- ・ 受講者一人あたりの研修日数は，令和2年度当初予定と同じにする。
- ・ 受講人数と収容可能人数を鑑みて，研修計画を立案する。
- ・ 所外施設での研修は，受け入れ先の状況に応じて行う。（防災教育，自然体験，施設体験）
- ・ 所外施設での研修が難しい場合は，研修目的に近づける構成を工夫する。（特別支援教育）

【中堅教諭等資質向上研修】

○ 実施状況

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から，研修日程を9月以降に設定した。機関研修は予定通り実施できたが，企業体験や大学等を活用する研修，外部企画の選択研修については，対応先の感染防止の観点から実施を中止としたものもあった。

○ 今後の方向性

- ・ 「学校を支える力」の伸長を図る上で，できるだけ早い時期にセンターで行う基本研修を実施する。
- ・ 基本研修は，午前の講義をベースに，午後の研究協議を充実させる。
- ・ 過去2年間（例年は1年間）に受講した研修を，選択研修として認める。

◆大学等との連携協力による研修について

○ 大学等との連携協力により行った研修

- ・ 通級指導経験者（LD等） 尚綱学院大学
- ・ 小・中学校スクールミドルリーダー養成研修会 宮城教育大学教職大学院
- ・ 高等学校・特別支援学校スクールミドルリーダー養成研修会 宮城教育大学教職大学院

※ 予定をしていた上記外の11の研修会は，新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため，大学と協議し「中止」とした。

○ 大学等との連携協力により行った研修の成果

- ・ 環境の整った大学施設を利用でき，講師から専門性の高い先進的な講義が受けられた。
- ・ 学生視点の意見等を聞き，アドバイスすることで，教員育成の観点等を再認識できる機会となった。
- ・ 現職教員と話し合うことで，学校現場の貴重な話が聞け，教員養成段階での資質能力向上に向けて意識高揚を図る機会となった。
- ・ 指導案の作成ポイントや実際の授業で配慮することなど，学校現場目線での視点を得る貴重な機会となった。
- ・ 教員養成段階で学校現場の課題や教師の実情が把握できる機会となった。
- ・ 教員に研修の機会が設けられていることを知り，教員志望への情熱が向上した。

○ 今後の方向性

- ・ 研修の内容や開催時期，日数等については，今年度の実施状況を踏まえて，事前に十分な調整を行い，受講者の負担軽減や学生の参加しやすさに配慮した研修環境を整える。
- ・ 教科外の教育に関する幅広い内容も視野に入れた連携協力を検討していく。
- ・ 教員養成段階で，実際の教員の姿や学校現場の実情を体験・体感できるよう，教員と学生が共に学べるような企画を提案していく。
- ・ 教員と学生との対面型の研修の良さを活かしつつ，オンラインを活用した研修のアイデアなど，新たな実施方法や研修体系の構築に向けて検討していく。